

ドラッカー実践講座

ー ドラッカー一流のコミュニケーション方法 ー

この講座は、ドラッカー思想の実践への応用を学ぶものです。社会人と学生が少人数クラスで、ドラッカーのマネジメント理論を共に学びあう、社会と連携した教育プログラムです。

[ねらい]

ドラッカー一流のコミュニケーション方法を学び、組織のなかで心を開いて率直にコミュニケーションを図るにはどうすればよいかを探る。

[目標]

コミュニケーションをとおして、いかにして高い能力を備えたチームを創り出すかを理解する。

[方法]

アメリカ在住のドラッカー研究者と日本の教室をオンラインで結び、遠隔からドラッカーの講義をライブ授業として実施する。授業終了後、インターネットで公開する。

講師	ジョセフ・リー（クレアモント大学院大学客員教授）
形式	少人数で対話型の授業を行う。（使用言語は英語）
日程	2011年 ①9月30日 ②10月7日 ③10月14日 ④10月21日 ⑤11月4日 ⑥11月11日
時間	午後7時～9時 全6回
場所	明治大学駿河台キャンパス リバティタワー1062教室
定員	明治大学生5名
受講料	無料
主催	明治大学 文明とマネジメント研究所 明治大学 ユビキタスカレッジ運営委員会
協賛	パナソニック システムソリューションズ ジャパン / 大日本印刷 / 日本電気 / QQEnglish / エデュース / ニューロネット
連絡先	Email : bunmei.management@gmail.com

ドラッカー流のコミュニケーション方法

ピーター・ドラッカーは、マネジメントは教養であると固く信じていた。また、会社の重要な使命は新しい顧客を創造することであり、リーダーシップは、人々をその洞察力・行動・品性において新たな水準に高めるためにあると確信していた。

そして、その目標を達成するためにリーダーに対し優れた対話者であることを求めた。この6回の講義をとおして、組織のなかで心を開いて率直にコミュニケーションを図るにはどうすればよいかを探る。下記のとおり、1回の講義で、その方法を1つずつ学んで行く。

< 講義内容 >

1 いかにして対話をはじめるか - アイスブレイカーとは？

本講では、アイスブレイカーの手法を実体験することによって、どのように対話を始めればよいかについて学ぶ。いかに、早い段階で仲間と心を開き率直に考えを共有することが大事であるかを知る。

2 いかにして洞察力を磨くか

同じ事柄に対しても人はそれぞれ異なった見方をする。それによって、コミュニケーション・バリアーがどのようにして形成されるかを学ぶ。

3 いかにして人々から最高のものを引き出すか

人々の能力を高めることがドラッカーの究極の目的であった。どうしたら、それが達成できるか？ それは、影響力によってである。本講では、人々にどうしたら大きな影響力を与えることができるかについて学ぶ。

4 いかにしてすぐれた物語の語り手となるか - 普遍的な言葉とは？

ピーター・ドラッカーは物語の優れた語り手だった。私たちはなぜそうなれないのか？ 物語をどう語るべきかを探り、そのスキルを学ぶ。相手に悪意を持たれることなく、率直に自分の意見を述べるにはどうしたらよいかを学習する。また、比喩の使い方を知る。

5 いかにして人々が見ていない「現在」を見るか

ジム・コリンズは、ピーター・ドラッカーは未来を予測したわけではないと言った——ただ単に人々が見ていない「現在」を見ただけである、と。異なる洞察力を持つことによって、現実をいかに違った角度から見るができるかを知る。また、想像力をどのように駆使するかを学ぶ。

6 いかにして高い能力を備えたチームを創り出すか

高い能力を備えたチームに共通するものは何か？ 共有化された目標。意味のある実践。オープンで率直な対話。チーム全員の成功への希求。本講では、この6週間で学んだ成果を意味のある行動へ変え、いかにして高い能力を備えたチームを創り出すかを学習する。